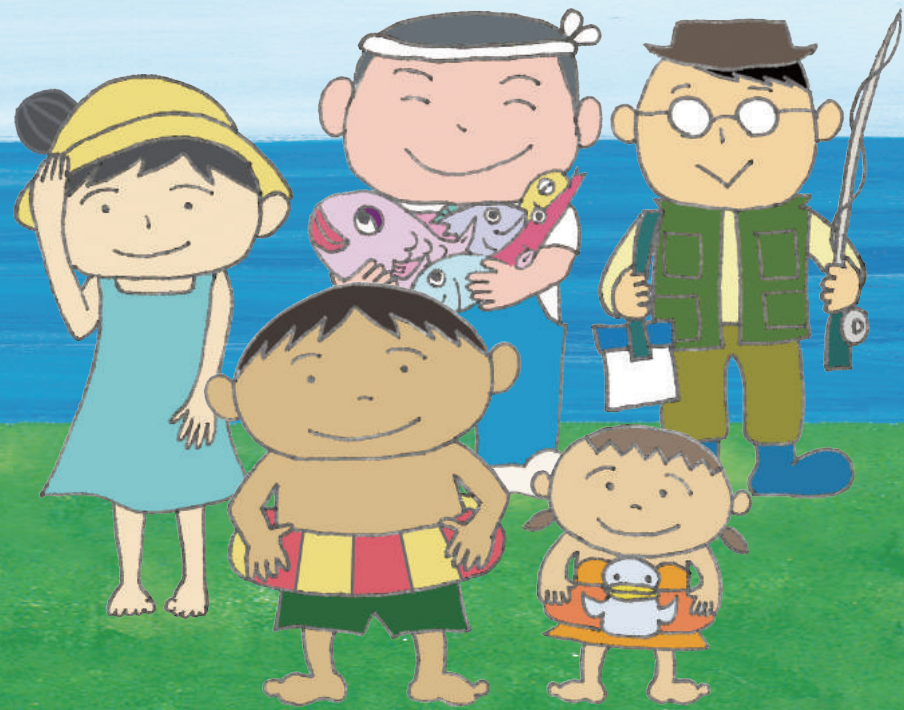




さあ、みんなで  
**クリーンアップ**  
 2016年版



公益財団法人 海と渚環境美化・油濁対策機構

〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-24 湯島ペアービル7階  
 電話 : 03-5800-0130 FAX : 03-5800-0131  
 Email : info@umitonagisa.or.jp <http://www.umitonagisa.or.jp>

**参加者用 海浜清掃ハンドブック**

このハンドブックは海と日本プロジェクトの一環で作成しています。

# 目次

海浜清掃の朝	2
注意したいこと	5
波打ち際へ行ってみると	7
海岸ごみの発生源を探る	9
海岸ごみの正体を探る	11
全国ごみマップ	13
未来に残そう美しい海と渚	15
さあ、みんなでクリーンアップ	16
フィールドノート	18

このハンドブックは2016年日本財団の助成金及び皆さまからいただいた海の羽根募金で作成されています。ご意見、お気づきの点がありましたら、下記までご連絡下さい。

公益財団法人 海と渚環境美化・油濁対策機構  
〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-24湯島ベアビル7階  
電話：03-5800-0130 FAX：03-5800-0131  
Email:info@umitonagisa.or.jp http://www.umitonagisa.or.jp



イラスト 加藤都子

# 海浜清掃の朝

海浜清掃は暑くなる前の早朝から始まるので  
前の晩は早く寝ましょう。  
体調が悪いところはありませんか？





海浜清掃は体力を使います。きちんと朝ごはんを食べて出かけましょうね。



集合場所の海岸に行ったら、もうみんな来ています。帽子、運動靴または長靴、タオルに軍手に水筒など。忘れ物はないですか？

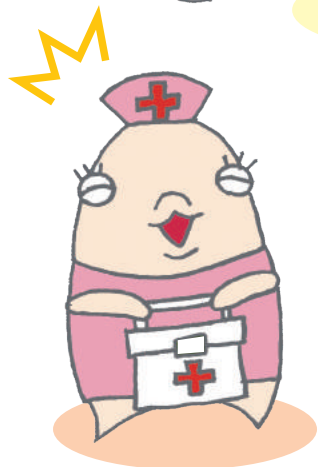
ごみを集めるのに、ごみばさみ、竹ぼうき、熊手、スコップなどもあります。

ごみ袋は配っていました。



# 注意したいこと

地域のきまりを守って  
ごみは分別しましょう



水分をしっかり  
とりましょう。



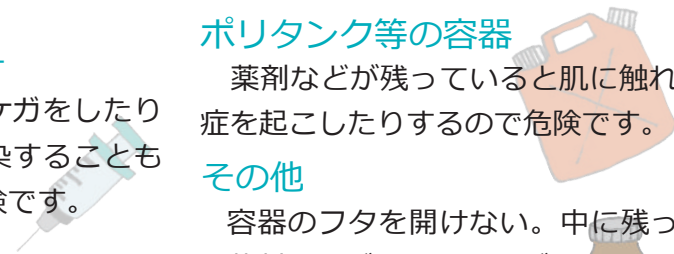
体調が悪くなったら  
無理せず休んでね。



海岸には触ると危険なごみもあります。危険なごみを見つけたら、触らないで近くにいる大人に連絡しましょう。

## 注射器・針

刺さるとケガをしたり  
ばい菌に感染すること  
もあるので危険です。



## ポリタンク等の容器

薬剤などが残っていると肌に触れて炎  
症を起こしたりするので危険です。

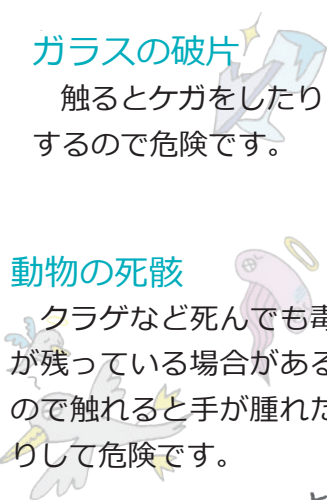
## その他

容器のフタを開けない。中に残ってい  
た薬剤でケガをすることがあります。

消火器など  
普段から手に  
触れない物に  
は手を触れる  
のは避けま  
しょう。

## ガラスの破片

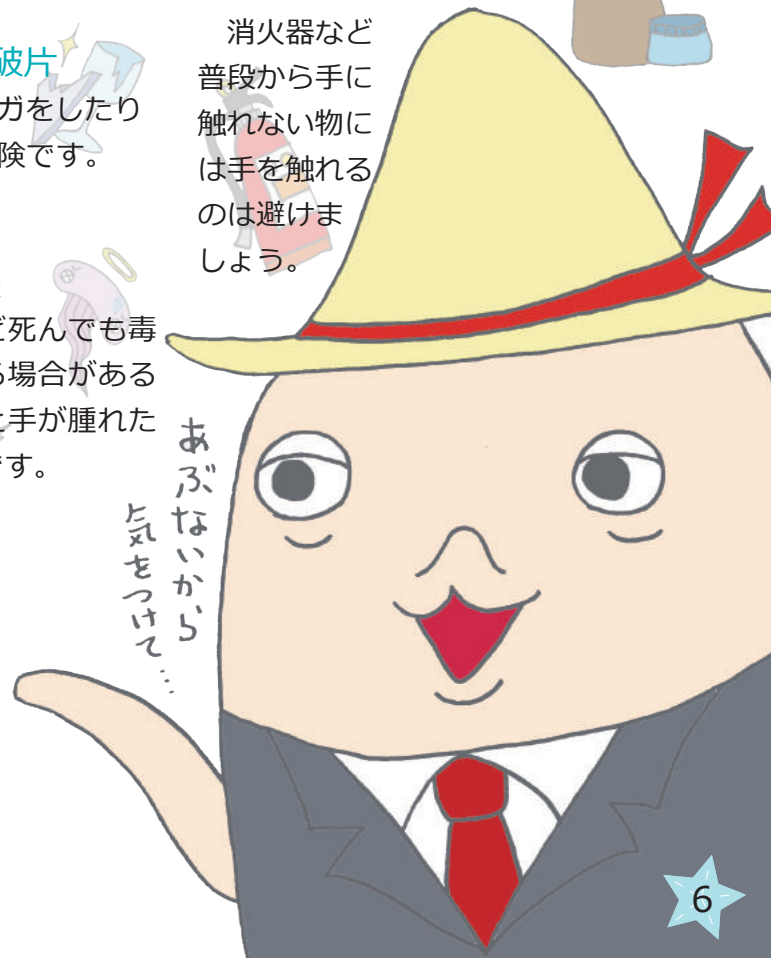
触るとケガをしたり  
するので危険です。



## 動物の死骸

クラゲなど死んでも毒  
が残っている場合がある  
ので触れると手が腫れた  
りして危険です。

あぶないから  
とれつけて...







# 海岸ごみ発生源を探る

打ち寄せる波、海にそそぐ川の流れ・・・  
海や川の流れてこみは海岸にやってきます。

## 内陸ごみ・河川ごみ

路上に捨てられたごみが雨や風で川に流されたり、川に投げ捨てられ海に流れ込むごみ。

## 海岸ごみ

海水浴、花火、バーベキュー、釣り・・・。楽しい海に置き去りにされるごみ。

## 漂着ごみ

海や川の流れてのって海岸に流れ着いたごみ。

## 漂流ごみ

船から捨てられたごみや遠い国から波に運ばれてくるごみ。

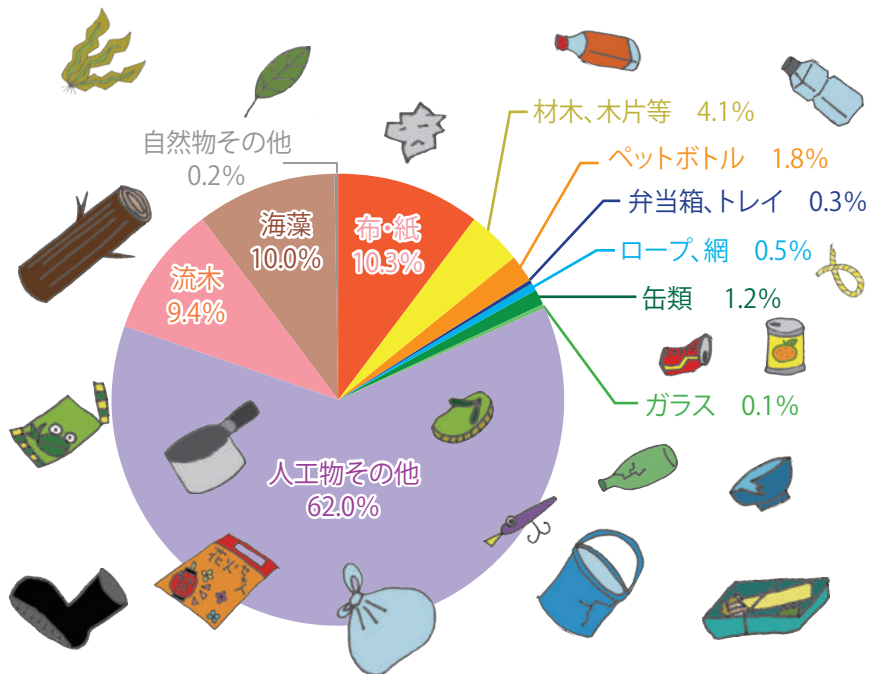
## 海底ごみ

缶や瓶、家電など思い浮かべるかもしれませんが、実はビニール袋やプラスチック製品が多いです。

# 海岸ごみの正体を探る



海岸を汚しているのは私たちが生活の中で捨てたものがほとんどです。流木や海藻は自然の力で分解されることもありますが、私たちが生活の中で捨てたものは簡単にはなりません。



種類別ごみの回収量の割合 (平成26年)

公益財団法人 海と渚環境美化・油濁対策機構が実施している調査によると、平成26年は全国で14,518回の清掃活動（約97万人が参加）が行われました。ごみの回収量は約15万4千 $m^3$ で、人工物ごみと自然物ごみの割合はおおむね8対2です。人工物ごみが目立ち、自然物ごみには流木が多くありました。

種類別ごみの回収量 (平成26年)

(単位： $m^3$ )

種類	全体	海岸	河岸	湖岸	海域
布・紙	4,737 (10.3%)	4,591 (10.7%)	139 (6.3%)	7 (13.1%)	0 (0.0%)
材木、木片等	1,895 (4.1%)	1,662 (3.9%)	202 (9.1%)	9 (16.9%)	22 (3.2%)
ペットボトル	813 (1.8%)	674 (1.6%)	115 (5.2%)	8 (15.8%)	16 (2.3%)
弁当箱、トレイ	142 (0.3%)	90 (0.2%)	40 (1.8%)	8 (14.8%)	3 (0.4%)
ロープ、網	252 (0.5%)	142 (0.3%)	21 (1.0%)	1 (2.0%)	89 (13.2%)
缶類	561 (1.2%)	464 (1.1%)	81 (3.7%)	7 (12.4%)	10 (1.5%)
ガラス	45 (0.1%)	33 (0.1%)	9 (0.4%)	1 (1.4%)	3 (0.4%)
人工物その他	28,498 (62.0%)	28,283 (65.7%)	190 (8.6%)	8 (15.4%)	17 (2.5%)
人工物計	36,944 (80.4%)	35,939 (83.5%)	798 (36.1%)	49 (92.0%)	159 (23.7%)
流木	4,330 (9.4%)	2,448 (5.7%)	1,390 (62.9%)	4 (7.7%)	489 (73.0%)
海藻	4,596 (10.0%)	4,575 (10.6%)	3 (0.1%)	0 (0.1%)	17 (2.5%)
自然物その他	97 (0.2%)	74 (0.2%)	18 (0.8%)	0 (0.3%)	5 (0.7%)
自然物計	9,023 (19.6%)	7,097 (16.5%)	1,411 (63.9%)	4 (8.0%)	511 (76.3%)
合計	45,968 (100%)	43,036 (100%)	2,209 (100%)	54 (100%)	669 (100%)

注1 各欄の値は四捨五入しているため、人工物計・自然物計・合計はその内訳の合算と一致しない場合がある。

注2 ここでのごみ回収量はごみの種類を把握している場合のみの集計値である。



\* 海浜等清掃活動の状況調査の詳細は当機構ホームページ (<http://www.umitonagisa.or.jp>) をご覧下さい。

# 全国ごみマップ

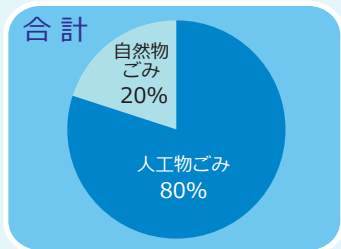
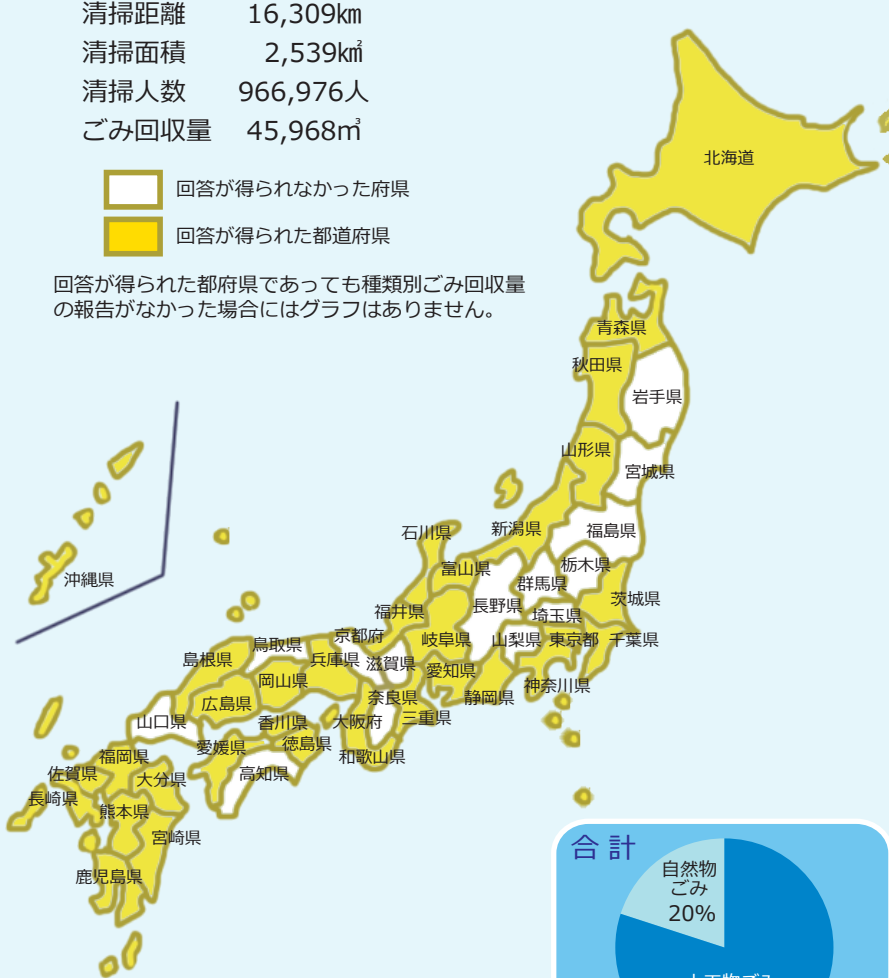
海浜等清掃活動におけるごみの回収状況（平成26年）

## 清掃活動の規模

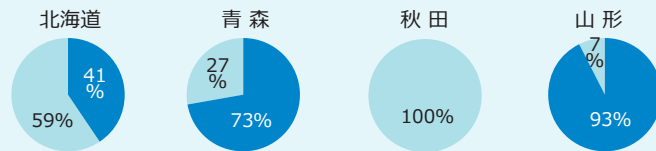
清掃距離 16,309km  
 清掃面積 2,539km<sup>2</sup>  
 清掃人数 966,976人  
 ごみ回収量 45,968m<sup>3</sup>

 回答が得られなかった府県  
 回答が得られた都道府県

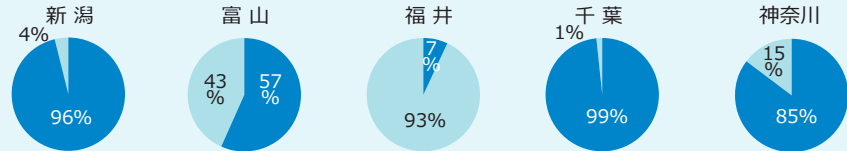
回答が得られた都道府県であっても種類別ごみ回収量の報告がなかった場合にはグラフはありません。



## 【北海道・東北地方】

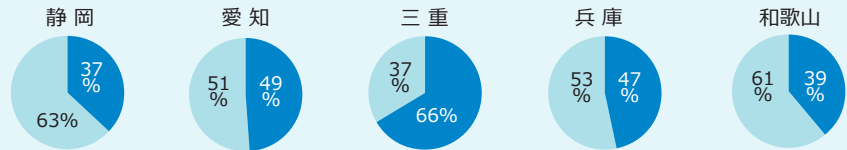


## 【北陸地方】



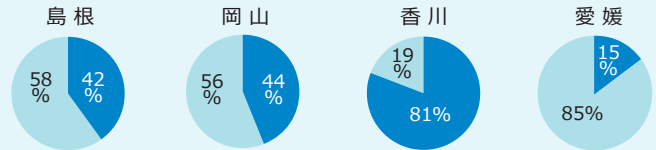
## 【関東地方】

## 【東海地方】

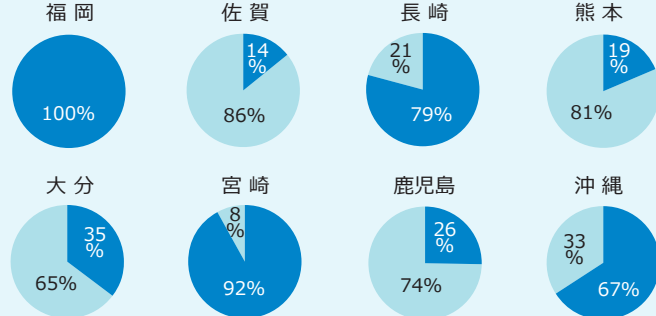


## 【近畿地方】

## 【中国・四国地方】



## 【九州・沖縄地方】





# 未来に残そう 美しい海と渚 一

きれいな海と渚を守るために海浜清掃も大切だけど、  
まずは、みんなが



ごみは出さない。



ごみは捨てない。



ごみは持ち帰る。



ということもとっても大切です。

がんばってきれいにしたから  
今夜はいい夢がみられそう。  
おやすみなさい。



## さあ、みんなでクリーンアップ



みんなの海岸、みんなで清掃



きれいな海と渚を未来に残そう



川に捨てられていた自転車を発見



重たい流木をみんなで運ぶ



ごみだけでなくカニも見つけた



足元に気を付けながら崖下清掃

# (付録) フィールドノート

清掃日 年 月 日 曜日

清掃場所

参加人数 人

使用した道具



拾ったごみの内訳 (○をつける)

【人工物ごみ \_\_\_\_\_ 袋】

紙・布類、ペットボトル、空缶（飲料等）、  
ガラス・陶器類、発泡スチロール  
その他 ( )

【自然物ごみ \_\_\_\_\_ 袋】

流木・草等、海藻類  
その他 ( )

メモ

